

「めあて」「振り返り」の設定について 大分教育事務所

◆1時間の授業には、どちらも必ず位置付けている。

【めあて】

付けたい力を身に付けさせるための、本時で目指す「活動のゴールの姿」や「ゴールとそれまでの道筋」。単元や題材の「めあて」を提示することもある。



【振り返り】

「めあて」に対する「振り返り」。学びの成果を実感させ、学んだことや意欲・問題意識等が次につなげられるよう視点を設定することが望ましい。

◆管内では次のように「めあて」設定を共有している学校があります。

- ①「めあて」と「ねらい」「評価規準」の整合性を図る。
※【評価規準】～説明できる。⇒【めあて】～説明できるようになろう。
- ②「めあて」の中に活動の道筋を入れる。
※「〇〇(視点)からまとめよう」「〇と△を比べ特徴を見つけよう」等

◆管内では次のような「振り返り」をしている学校があります。

- ①終末に「めあて」を再確認し、「めあて」をもとに振り返る。
- ②授業のキーワードをもとに振り返る。
- ③「はじめは・・・、あとで・・・。」変容を書く。
- ④気付いたこと、疑問に感じたこと等を書く。 等

めあて(管内の学校の実践例)

【小3算数】 1Lますに途中まで入った水のかさを分数で表そう。

【小5図工】 自分が感じたお話のテーマを、色や背景を工夫して友達に伝えるように表現しよう。

【小6体育】 息継ぎとフォームに気を付けて長い距離を泳げるようになろう。

【中1総合】 これまでに調べてきた地域の魅力を決定するための視点を決め、パンフレットに載せる内容を絞り込もう。

【中2数学】 2組のx, yの値から一次関数の式を求める方法を説明できるようになろう。

【参考】

3_(2)_④「主体的に学習に取り組む態度」の評価について

～～略～～

～～、児童生徒が「子供たちが自ら学習の目標を持ち、進め方を見直しながら学習を進め、その過程を評価して新たな学習につなげると
いった、学習に関する自己調整を行いながら、粘り強く知識・技能を獲得したり思考・判断・表現しようとしていたりしているかどうかという、意思
的な側面を捉えて評価することが求められる」とされている。

「児童生徒の学習評価の在り方について(報告)」P9から抜粋

(平成31年1月21日)中教審初等中等教育分科会教育課程部会(第9期第8回(第109回))